

活力ある元気なまちへ まちづくり懇談会とアンケート結果④

町では、第5次日野町総合計画の策定に向けて、広く住民の方と話し合い、さまざまな意見を計画に活かすことを目的に、各地区公民館で2回ずつの「まちづくり懇談会」を開催しています。

今月号では、「まちづくり懇談会」の内容と「若者定住対策」に関するアンケートの結果をお知らせします。

2回目の「まちづくり懇談会」では、1回目の「まちづくり懇談会」で出された日野町の『強み』と『弱み』について、今後、どのように取り組むかを参加者の皆さんと一っしょに考え、さまざまな意見をいただいています。

日野町の『強み』を伸ばす方法

【ブルーメの丘、しゃくなげ溪、日野祭など、観光資源が多い】

- ・観光資源を組み合わせ、PRや企画の売り込みを行う
→点在する観光資源のルート化を図る

【各地区で防災訓練がよく行われている】

- ・災害発生時に迅速に対応できるしくみを作る
→女性や高齢者にも使える小型の消防ポンプを整備する



*一部のみ掲載しています

日野町の『弱み』を改善する方法

【子どもたちの通学を見守る取り組みが地域全体できていない】

- ・地域において「見守りの目」を増やしていく
→犬の散歩や草むしりなどを、子どもの下校時間に合わせてする

【地域で認知症の人を支える体制ができていない】

- ・集会所を活用して、認知症の人に参加してもらいやすい取り組みをする
→軽食やビデオを用意するなど、参加者に楽しんでもらえる内容にする

*一部のみ掲載しています

各地区にて2回目の
「まちづくり懇談会」を開催しています

今後町では、各種団体との話し合いを計画しています。また、公募と団体等の推薦による「総合計画懇話会」の立ち上げを予定しています。「総合計画懇話会」では、「まちづくり懇談会」での皆さんの意見をもとに計画策定に向けて継続的に検討していきます。

10月10日(土)の午後7時30分から日野公民館において「まちづくり講演会」の開催を予定していますので、ぜひともご参加ください。



安心して暮らしつつづけられるまち

第5次日野町総合計画

— 住民アンケート結果報告④ —

日野町に若者が定住するためには…

「働く場の確保」

「地域のしきたりや慣習の改善」

が上位

「買い物の利便性の向上」

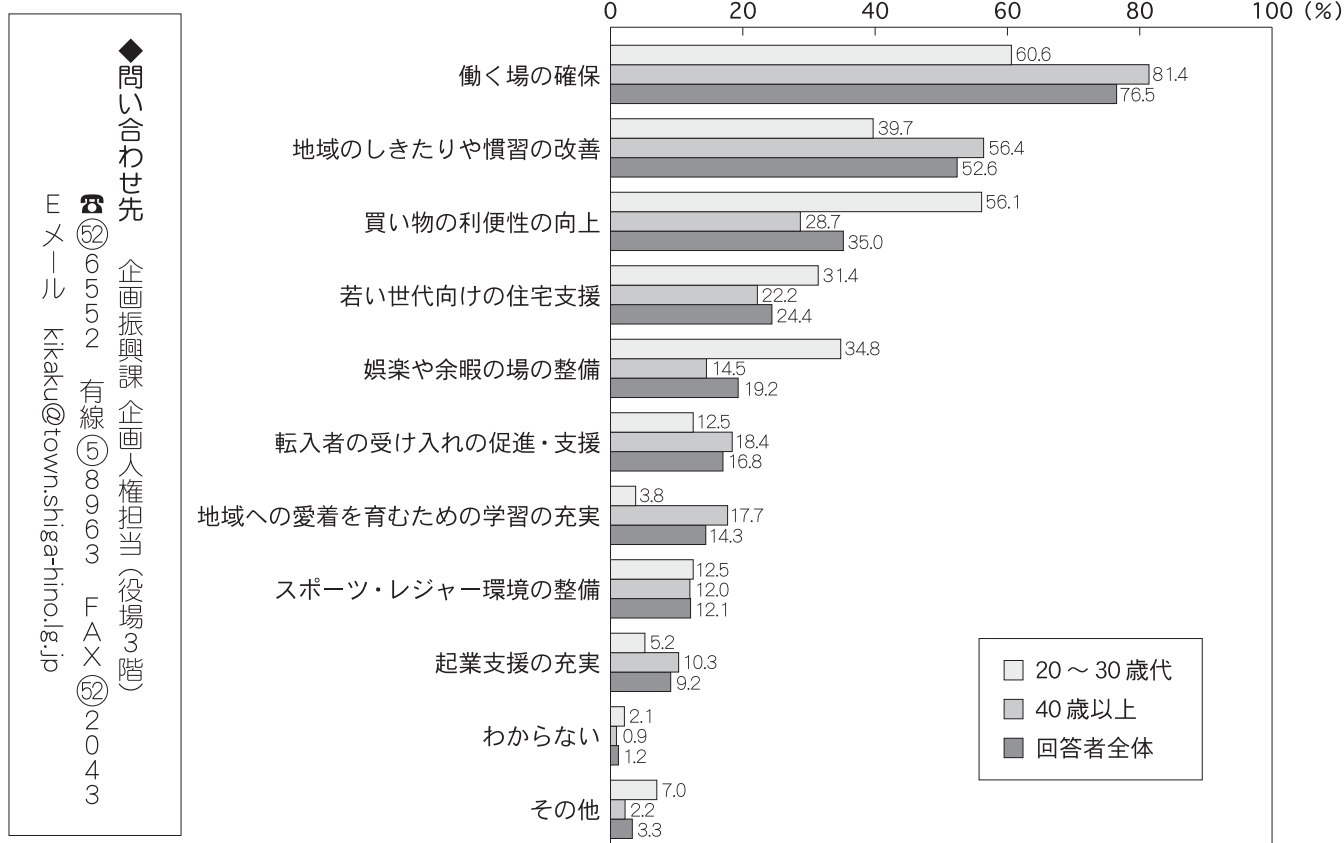
「若い世代向けの住宅支援」

が続く

日野町に若者が定住するために力を入れることについては、回答者全体で、「働く場の確保」が76.5%と最も割合が高く、次いで「地域のしきたりや慣習の改善」が52.6%、「買い物の利便性の向上」が35.0%、「若い世代向けの住宅支援」が24.4%となっています。「働く場の確保」については、「40歳以上」で回答の割合が高くなっていますが、「20～30歳代」では、回答者全体に比べて、回答の割合が低くなっています。若い世代では、職場の数だけでなく、職種についても幅広いニーズがあると考えられます。また、地域社会の運営の中心となっている世代を含む「40歳以上」で「地域のしきたりや慣習の改善」の回答の割合が高くなっていることから、これまでの慣習をもつ一度検討するなど、柔軟な地域社会の運営が必要と考えられます。「20～30歳代」では、「買い物の利便性の向上」や「娯楽や余暇の場の整備」の回答の割合が高くなっていることから、商業やサービスの振興が望まれています。また、「若い世代向けの住宅支援」も高く、住宅対策へのニーズも高いものと考えられます。

【若者定住対策】

Q. 日野町に若者が定住するために、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(3つ以内を選択)



◆問い合わせ先

企画振興課 企画人権担当(役場3階)
 ☎ 0552-6552 有線 0800033 FAX 02043
 Eメール kikaku@townshiga-hino.lg.jp